

## 茨城県景気ウォッチャー調査結果（令和3年12月調査）

茨城県では、本県の景気に関する生の情報を得るために、県民から景気の状態を3か月ごとにアンケートで情報収集する県独自の景気ウォッチャー調査を平成14年から行っています。  
この度、令和3年12月の調査結果がまとまりましたので、概要を以下のとおり公表します。

### 1 調査結果

～ 景気の現状判断DIは前回調査から大きく上昇 ～

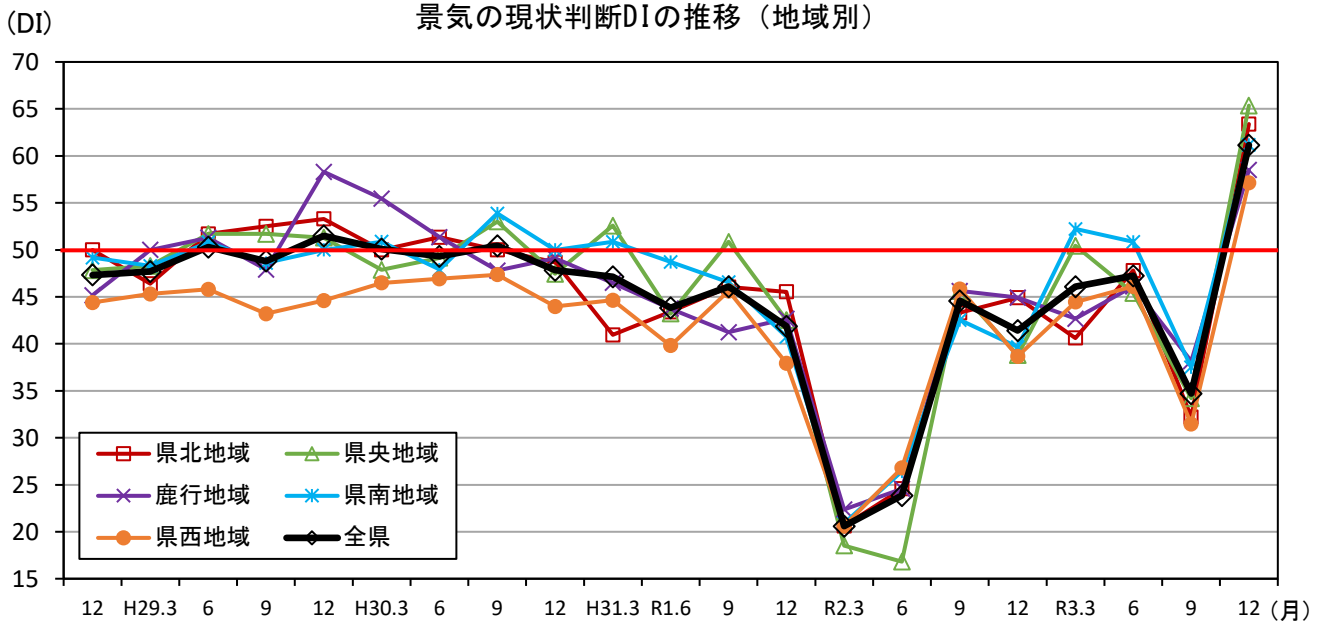
☆ここがポイント

区分	景気現状判断DI		景気先行き判断DI		※DI(Diffusion Index) 景気動向を判断するために使用される指標の1つ。景気 directional (景気が上向きか下向きか) を見るもの。 本調査では、回答を5つの区分ごとに点数で表し、その点数を回答構成比(%)で乗じてDIを算出している。
	12月調査結果	前回調査との差	12月調査結果	前回調査との差	
県全体	61.2	+26.5	52.2	+0.8	<参考> DI値50超 : 上向き DI値50 : 横ばい DI値50未満 : 下向き
県北	63.4	+31.2	50.0	-0.4	
県央	65.4	+31.2	55.3	+3.5	
鹿行	58.5	+20.4	50.5	-1.2	
県南	61.2	+23.7	55.4	-0.2	
県西	57.1	+25.6	50.0	+2.6	

○県全体の景気現状判断DIは前回調査から大きく上昇し、13期ぶりに50を上回った。先行き判断DIについては4期連続で50を上回った。

○ウォッチャーからは新型コロナウイルス関連のコメントが多く寄せられ、現状判断では緊急事態宣言に関するコメントが、先行き判断ではオミクロン株や変異株に関するコメントが多かった。

景気の現状判断DIの推移（地域別）



#### 〔調査の概要〕

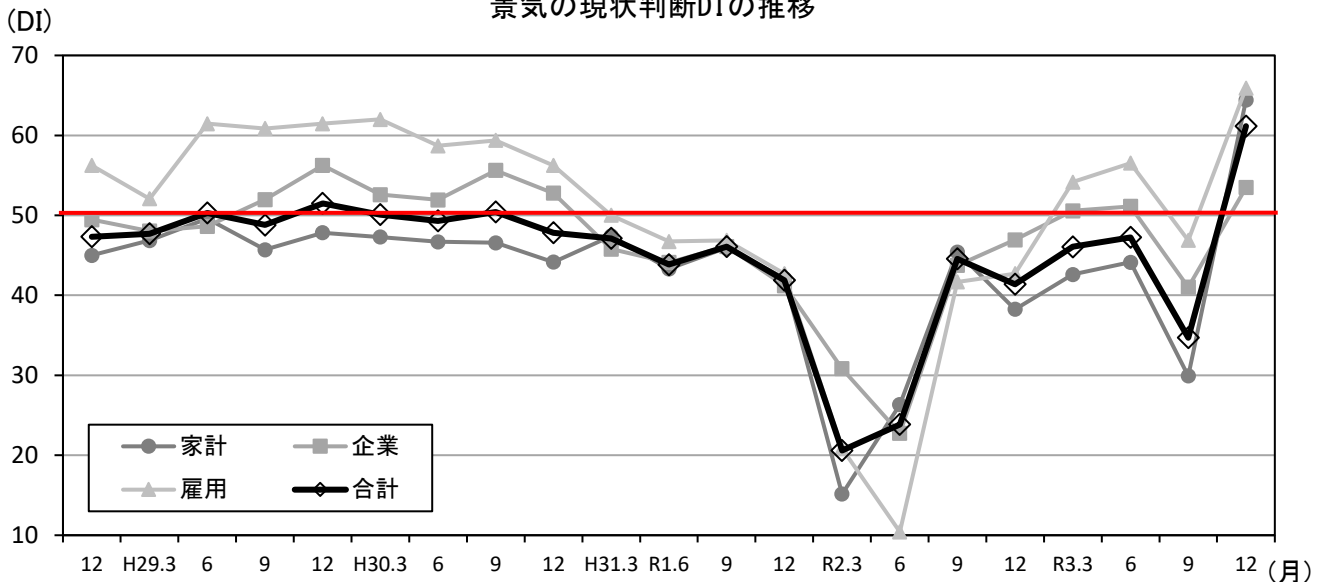
- ・ 調査対象数 … 県内5地域（県北、県央、鹿行、県南、県西）ごとに60名、計300名。
- ・ 調査内容 … 3か月前と比較した現状及び3か月後の先行きの景気判断（「良い」「やや良い」「変わらない」「やや悪い」「悪い」の5択）とその判断理由（コメント）の回答を集計。
- ・ 調査時期 … 四半期（6、9、12、3月）毎に実施し、翌月公表。（今回調査期間：令和3年12月5日から20日まで）
- ・ 回答率 … 92.7%（300名中278名から回答）

（地域区分）  
 県北地域：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、大子町  
 県央地域：水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町  
 鹿行地域：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市  
 県南地域：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町  
 県西地域：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

## 2 県全体の動向

### (1) 現状判断DI

景気の現状判断DIの推移



分野	調査年月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月
合計		41.4	46.1	47.3	34.7	61.2
家計動向関連		38.2	42.6	44.1	29.9	64.4
小売関連		42.9	41.7	38.7	29.3	53.2
飲食関連		31.0	28.9	42.7	12.5	72.7
サービス関連		36.8	45.9	49.7	33.1	75.4
住宅関連		31.3	53.1	44.4	50.0	46.9
企業動向関連		46.9	50.6	51.1	41.0	53.5
農林水産業		37.5	50.0	54.2	45.8	57.1
製造業		48.5	51.6	49.5	38.5	53.1
非製造業		46.4	49.2	52.9	43.6	53.2
雇用関連		42.7	54.2	56.5	46.9	65.9

景気の現状判断DIは61.2となりました。前回調査より26.5ポイント上昇し、横ばいを表す50を13期ぶりに上回りました。

家計動向関連DIは、前回調査より34.5ポイント上昇し、26期ぶりに50を上回りました。

企業動向関連DIは、前回調査より12.5ポイント上昇し、2期ぶりに50を上回りました。

雇用関連DIは、前回調査より19.0ポイント上昇し、2期ぶりに50を上回りました。

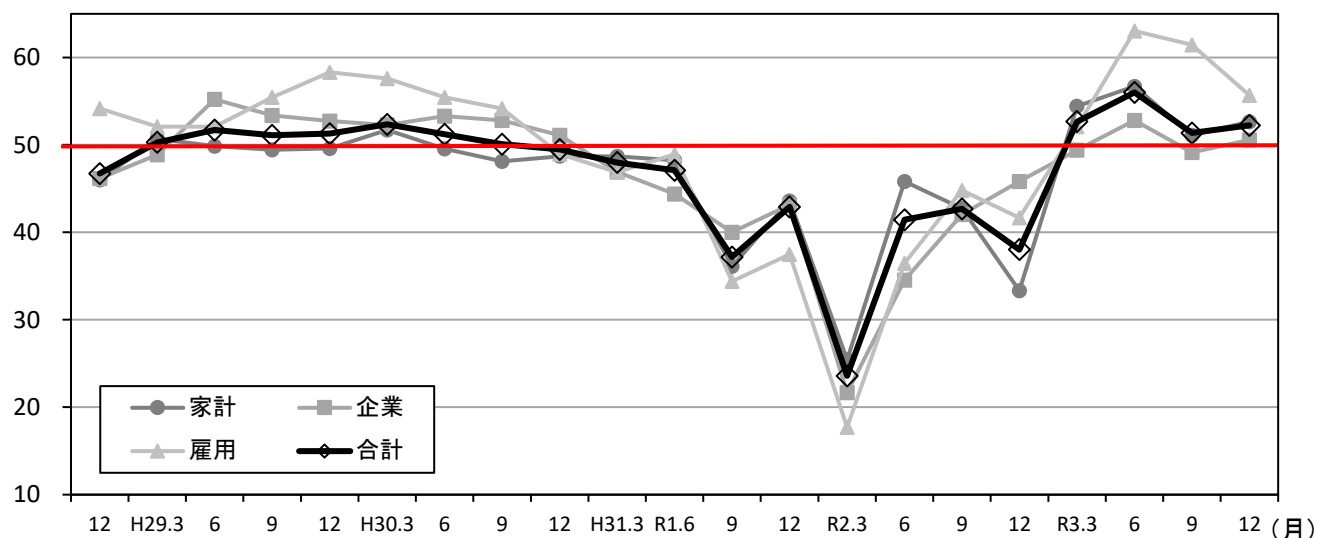
#### 《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・ (県北：レジャー施設) 国や県の要請等で9月30日まで諸施設を休業していた。その反動か、10月から営業を始めると例年以上に利用者及び収入とも大幅に増加しているため、良くなっていると判断した。
- ・ (県央：製造業(食料品)) 特に外食店向けの受注が明らかに伸びたため、良くなっていると判断した。
- ・ (鹿行：運輸業(道路貨物運送業)) 業績面の推移から、前年対比のアップ率が微増ではあるが上昇傾向にあるため、やや良くなっていると判断した。
- ・ (県南：小売業) 新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いており、明らかに客の来館数や売上げが上向いている。全体の実績も前年を大幅に上回り、一昨年2019年の状況に近づいているため良くなっていると判断した。
- ・ (県西：求人開拓員) 新型コロナウイルスの感染者数の減少傾向が続いている状況の中、多くの業種で求人が増加している状況が見られ、当センターに直接求人登録を申し出る企業も出ているため、良くなっていると判断した。

(2) 先行き判断DI

(DI)

景気の先行き判断DIの推移



分野	調査年月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月
合計		38.0	52.7	56.0	51.4	52.2
家計動向関連		33.3	54.4	56.7	51.1	52.6
小売関連		35.4	51.4	52.1	48.6	49.6
飲食関連		28.6	55.3	58.3	46.6	58.0
サービス関連		31.9	57.2	63.7	56.8	54.7
住宅関連		40.6	53.1	30.6	33.3	46.9
企業動向関連		45.8	49.4	52.8	49.2	50.6
農林水産業		50.0	53.6	50.0	41.7	50.0
製造業		47.4	46.8	53.1	47.4	48.4
非製造業		42.9	52.3	52.9	52.9	54.0
雇用関連		41.7	52.1	63.0	61.5	55.7

景気の先行き判断DIは52.2となりました。前回調査より0.8ポイント上昇し、横ばいを表す50を4期連続で上回りました。

家計動向関連DIは、前回調査より1.5ポイント上昇し、4期連続で50を上回りました。

企業動向関連DIは、前回調査より1.4ポイント上昇し、2期ぶりに50を上回りました。

雇用関連DIは、前回調査より5.8ポイント低下したものの、4期連続で50を上回りました。

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・ (県北：タクシー運転手) 新型コロナウイルスの感染状況次第だが、現状では楽観的な状況。外出、旅行などの需要が高まっているため、やや良くなっていると判断する。
- ・ (県央：設計事務所) 現在の建設資材の品薄状態等が、早急に改善する気配がないため変わらないと判断する。
- ・ (鹿行：製造業(金属製品)) IC関連(電気部品)の受注は上向きである。新型コロナウイルスの影響で家庭内で過ごす時間が多いライフスタイルのため、白物電化製品の売れ行きも多いようなので、やや良くなっていると判断する。
- ・ (県南：公共職業安定所) 製造業からの求人は好調であるが、原油高、円安等による原材料の値上げ等の影響に懸念があるため変わらないと判断する。
- ・ (県西：道の駅) 新型コロナウイルスの感染状況が減少している中で、新しい年を迎え、客の購買意欲が上がることに期待してやや良くなっていると判断する。

### 3 地域別の動向（※調査結果はP.1参照）

#### （1）県北地域

- ① **現状判断：** 景気の現状判断DIは63.4となりました。前回調査より31.2ポイント上昇して、横ばいを表す50を13期ぶりに上回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（住宅販売会社）土地の仕入れが出来ているため客の要望に合う物件が多くなったので、良くなっていると判断した。
- ・（製造業（電気機械器具））液晶・半導体製造装置関連において受注や引合いが増えてきたため、やや良くなっていると判断した。従業員のみでは納期対応できず、派遣会社を利用することとなった。

- ② **先行き判断：** 景気の先行き判断DIは50.0となりました。前回調査より0.4ポイント低下して、横ばいを表す50となりました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（日本料理店）外出する人も多くなり、経済は回ってきている状況ではあるが、第6波が懸念されておりどうなるか分からないのが現状でもある。
- ・（求人広告）短期間での緩和ではなく先行きが明確にならないと、渋り・様子見が多く、どうにもならないため、やや悪くなっていると判断する。

#### ③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（製造業（一般機械器具））ニュースでもあるが半導体不足による部品の納品遅延の影響がある。
- ・（林業関係者）林業・木材業の業界においては高値であるため、現在は高水準で安定している。しかしながら、これまでの事（価格・販路等）を考慮しながらも、現在の状況をみて大胆な設備投資なども行われている。

#### （2）県央地域

- ① **現状判断：** 景気の現状判断DIは65.4となりました。前回調査より31.2ポイント上昇して、横ばいを表す50を3期ぶりに上回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（都市型ホテル）緊急事態宣言解除後、週末を中心とした個人客の利用が増えていることと、団体（法人）の利用も増えてきているため、良くなっていると判断した。
- ・（人材派遣業）受注がかなり増えているため、やや良くなっていると判断した。

- ② **先行き判断：** 景気の先行き判断DIは55.3となりました。前回調査より3.5ポイント上昇して、横ばいを表す50を4期連続で上回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（農産物直売所）買物ツアーのバスの予約が入り始めている。県外の個人客も増加傾向にあるため、やや良くなっていると判断する。
- ・（製造業（一般機械器具））半導体不足や部品不足での自動車減産の影響が続いているため、変わらないと判断する。

#### ③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（スーパー）1年前と比べて、食品のまとめ買いが減っている。
- ・（タクシー会社）県外からのスポーツイベント参加者の送迎や一般旅行者の県内周遊・問合せが増加している。また、高齢者の送迎も増えてきている。

### (3) 鹿行地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは58.5となりました。前回調査より20.4ポイント上昇して、横ばいを表す50を14期ぶりに上回りました。

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・ (コンビニエンスストア) 3か月前に比べ、週末の人の動きが良くなっており、土日に出かける人が増えていると感じるためやや良くなっていると判断した。
- ・ (人材派遣業) 大きな動きではないが、問合せ等が増えてきており、景況感としては上向きに感じるためやや良くなっていると判断した。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは50.5となりました。前回調査より1.2ポイント低下したものの、横ばいを表す50を4期連続で上回りました。

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・ (小売業(薬品店)) 相変わらず新型コロナウイルスの影響で受診抑制が続いていると感じるし、処方元での薬の長期投与の影響も出ているためやや悪くなっていると判断する。
- ・ (農業関係者) 昨年より、景気の回復が目に見えて良くなってきているのが分かる。今後、政府によって財政支援が行われた場合、足元の景気も更に良くなってくると思われるため、やや良くなっていると判断する。

### ③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・ (金融業) ウッドショックの影響や建築に係る資材等も高騰していると聞いているが、新築を中心とした住宅ローンの相談は増えているように感じる。
- ・ (日本料理店) 忘年会は以前のように大人数がほぼなくなり、少人数で来てサクッと帰る習慣が出来たために遅くまで注文する客が少なくドリンク単価が落ちたが、一方で料理の単価はわずかに上がっている。

### (4) 県南地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは61.2となりました。前回調査より23.7ポイント上昇して、横ばいを表す50を2期ぶりに上回りました。

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・ (和食食堂) 新型コロナウイルスが落ち着き始め、緊急事態宣言も解除されたことでアルコールの売上げも多少戻ってきた。また、一組あたりの人数も増えたように思うので、景気は良くなっていると判断した。
- ・ (農業関係者) 12月期(初旬まで)の来客数・客単価を今年9月期と比較すると両者とも若干の減少傾向。これは毎年の傾向である。前年同期と比較すると、ほぼ変わりはない。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは55.4となりました。前回調査より0.2ポイント低下したものの、横ばいを表す50を4期連続で上回りました。

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・ (タクシー運転手) 今後も前年比の売上げは増えると思われるが、燃料を始め原材料費が高止まりで利益の増は望めないで変わらないと判断する。
- ・ (製造業(窯業・土石製品)) 新型コロナウイルスの感染拡大もだいぶ落ち着いてきており、やや良くなっていると判断する。

### ③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・ (小売業) 特に土日祝日については、来館される客の時間帯が朝から日中に大きな波があり、夕方18時以降は利用が少なく前年割れの状況。まだ夜の飲み会や家族揃っての夕食には慎重な様子が伺える。
- ・ (運輸業(倉庫業)) 輸入、輸出向けのコンテナ不足により貨物の動きが変わってきている。それによって在庫増という結果にも繋がっているように感じる。

## (5) 県西地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは57.1となりました。前回調査より25.6ポイント上昇して、横ばいを表す50を31期ぶりに上回りました。

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(レジャー施設) 来園者数も増え、売上げについてもほぼ戻りつつあるため、良くなっていると判断した。
- ・(人材派遣業) 半導体不足の影響で、自動車・自動車部品・家電などで一部生産が落ちているが、全体で見れば派遣の依頼件数が昨年と比較して増えているため、やや良くなっていると判断した。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは50.0となりました。前回調査より2.6ポイント上昇して、横ばいを表す50となりました。

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(家電販売店) 非常に緩やかではあるが客数は増加すると思われる。高価格帯の商品に限っていえば、半導体の影響にて在庫がない物でも前年比よりも売れているため、やや良くなっていると判断する。
- ・(農業関係者) しばらくは新型コロナウイルスの影響により青果物等の引き合いが弱い予想。また、米穀関係も同様に海外からの観光客等の入国が見込めないため、販売状況の好転が見込めない。

### ③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(スーパー) 新型コロナウイルスの緊急事態宣言解除後も消費動向は大きくは変化していない様子。夜間の客数の減少は継続的である。
- ・(製造業(窯業・土石製品)) 夏頃までは色々な業界から見積依頼が殺到しており、価格より納期重視の企業が多く見受けられた。

## 4 多く寄せられたキーワード

以下では、ウォッチャーから寄せられた回答の中で多く見られたキーワードや、前回から増加したキーワードを含むコメントを掲載しています。

- ・「新型コロナウイルス」に関するコメント 212件(県北:37 県央:46 鹿行:47 県南:38 県西:44)

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(水産業関係者) 新型コロナウイルスの感染状況の影響は拭えないが、活気が見られたためやや良くなっていると判断した。
- ・(スーパー) 新型コロナウイルスの状況にもよると思うが外出が増え、外食産業が伸びてくると景気は良くなると思われる。ただ収入が増えるという話は聞かないので、さほど良くなるとは思わない。

- ・「オミクロン株、変異株」に関するコメント 113件(県北:16 県央:24 鹿行:27 県南:20 県西:26)

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(製造業(食料品)) オミクロン株(新型コロナウイルスの変異株)が心配だ。国内感染が広がれば景気は悪くなり、さほどでなければ変わらないと判断する。
- ・(求人开拓員) 新型コロナウイルスの変異株(オミクロン株)の感染拡大が日々報道されている状況から、3か月後の経済活動にどのような影響が出るか想像がつかない。

- ・「緊急事態宣言」に関するコメント 42件(県北:4 県央:12 鹿行:9 県南:8 県西:9)

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(バス運転手) 新規感染者の減少、緊急事態宣言解除に伴い、貸切バスの稼働が増え、高速バスの利用客が増えているためやや良くなっていると判断した。
- ・(レジャー施設) 緊急事態宣言の解除により、人の交流の活発化を感じているため良くなっていると判断した。

(注) より詳しい情報については、当課ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>